
EARTH

でんねこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

EARTH

【Zマーク】

Z6638L

【作者名】

でんねこ

【あらすじ】

少年はある日、雷光と共に天啓を受けれる。
それがすべての始まりだった。

(前書き)

セカイ系とはどんなものか…と、おもいてキスト入れを漁ったところ
それっぽいのが見つかったので投稿しました。
最後まで見てもらえば幸いです。

「先生、心拍数が！」 「まことに、すぐ処置を……」

僕の名前は星野大地23歳、よくわからないけど僕は地球の心臓らしい

EARTH

ある日僕は友人と一緒に釣りをしに行つた。
だけどその直後雨が降り出し、運悪く僕は雷に打たれてしまった。
その時僕は、意識が真っ白になると同時に何か声がするのを感じた。
「人よ…汚れ多き人よ…私の命はもはや死きようとしている、もは
や一刻の猶予も許されない。今すぐに…」

声はそこで終わった。

それから僕はしきりに悪い夢を見た。「地球の心臓」とか「死ぬ時
地球は滅びる」とか、はつきり言って意味不明だったがそれがまん
ざらでは無いことに気づいたのは、今から3年前のことだった。

13年前、ついにアメリカとロシアが睨み合いを開始した。
それ以前にも僕は左肺がジンジンと痛むことがあったが、それがふ
と収まつたのもその時である。

ニュースだと石油の出が悪くなつたらしい。

そして喉が焼けるように痛み出すこともあつた、その時ニュースで
は戦火により森が焼かれるシーンが移つていた。

医者にも通つたが原因は不明、ただただ様子見の日々だった。
僕はかつて聞いた謎の言葉が本当の事ではないかとその時初めて不
安になつた。

それから僕は環境問題について色々と調べ始めた。その惨状たるや予想以上と言つても良かつた。

日を増すにつれ痛みは増し、学校を休む日も多くなつた。

僕は親に頼み込み、青少年のボランティア活動団体に入つて環境に役立つことを色々とやってみた。

ゴミの分別から始まり、署名活動まで様々やつた。そうするにつれ少しづつ痛みも減つていった。

このまま完治して、再び友達と一緒に学校へ毎日通える日がいつか来る。そう思つていた。

3年前、ついに睨み合いは極限まで達し核戦争間近とまで言われていた頃、僕達は出来うる限り食い止める方法を模索し、嘆願書も出した。

しかしそれも足搔きでしかなく、ついに戦争は始まつてしまつた。森は焼かれ、町村は攻め滅ぼされ、人は泣き叫ぶ。

その日を境に僕はだんだん体調が悪くなりだし、ベッドから起てなくなる事も少なくなかつた。それでも戦争を止めようと必死にやつた。

抗議のデモを起こし、署名活動もし、自分なりの戦争の在り方などを話し合つたりもした。それを生かそうと努力もした。

ひたすらに、時が経つのを忘れるかのようにひたすらに活動した。

だけど、体調は悪くなる一方でついに僕は病院へ入院することになつた。

ベッドで安静にしてる間にも状況は悪化し、核の使用もすぐ近くといつアナウンサーもいたりした何も出来ない恐怖に覚え、悔しさに泣く毎日だつた。そして今日、意識が消えた。

「心拍数が上がりません!」「マッサージを続ける」

声は何とか聞こえる、ただ体が動かない。全身に何となくではある
が寒気が走るのも感じた。

意識があるのか無いのか、自分にもわからなかつた。

ふと声が聞こえた。懐かしい声、昔聴いたことがある声だつた

「君は良く頑張つた、だがあまりにも微弱だつた。君の頑張りが足
りなかつたのではない。人が君の頑張り以上に愚かしかつただけに
過ぎなかつたのだ…」

「まだ、生きたい」

「残念だがそれは無理だ、だが君は一人ではない。みんなと一緒に
往くことが出来る。これが私にしてやれる感謝の気持ちだ。」

「あなたは…？」

「私は…」

ピ

⋮

「心臓、停止しました…」

「あきらめるな、まだ…」

その時、世界は光に包まれた。

一つの星が人間という愚かしい生物の作り上げし物によつて
滅びた瞬間である。

END

(後書き)

厨設定のはずがいつの間にか鬱設定
ふつしそー…と当時書いたのですがこいつのをセカイ系といつの
かといふと悩みどころです。
良ければ感想がてら語つてもらえれば幸いです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n66381/>

EARTH

2010年10月10日03時54分発行